

8月8日(水)発行

昨日の感動を
お届けします!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



シンフォニックな「くるみ割り人形」!

【8/5(日)東京都交響楽団】

昨年もホールのグッズ売り場で見かけた「フェスタサマーミュージックKAWASAKI」のロゴの入った「ラムネ菓子」の味が忘れられず、今年はどうですかと尋ねたら、あった。このフェスタ名物の小さな菓子は、すこぶる清澄で洒落た味なので、甘味好きの私にはたまらない魅力である。これを舌の上で転ばして味わいながら、「お菓子の国の魔法の城」や「チョコレート(スペイン)の踊り」や「金平糖の踊り」を聴くと、さらに快く――。

何だかこじつめたような話に

なったが、この日演奏されたチャイコフスキーの「くるみ割り人形」全曲は、バレエ無しで音楽だけ聴いても、少しも飽きの来ない素晴らしい曲だ。これを聴くと、彼は何と美しい旋律を豊かに備えている作曲家なのだろうと、改めて感心してしまう。

フランスの名匠マルク・ミンコフスキが、東京都交響楽団を指揮して、この曲を実に個性的な表現で演奏してくれた。それは、夢想的で甘美なおとぎ話の世界を思わせる音楽とは、少し違う。むしろバレエ音楽というイメージにこだわらず、硬質な響きと鋭角的なり

ズムで、シャープな力感を漲らせたシンフォニックな音楽としての性格を強めた演奏なのだった。チャイコフスキーの色彩に富む豊かな音色の管弦楽が、透明感を持った直截な音のスリリングなぶつかり合いとなっていた個所も少なくなかったのである。

こういうところは、いかにも古典系指揮者といわれるミンコフスキらしいアプローチで、面白い。だが、そのような解釈に逢ってもびくともせず、美しさを守っていたチャイコフスキーの音楽もまた凄い。

(東条碩夫・音楽評論)



マエストロから「the best hall in the world!」と嬉しいコメントをいただきました!

来場者の声

こんなにワクワクしてドキドキしてジーンとしたくるみ割り人形は初めてでした!素晴らしい!(Masa・40代)/文化祭でくるみ割り人形組曲の指揮をすることになり、勉強になるかなと思って聞きに来ました。リハーサルで指示が出るたびに音が変わっていくのがわかりました。演奏は毎日35度をこえる猛暑の中、クリスマス感があふれていてすごいと思いました。パーティのわくわく感、子どもたちのかわいらしさを感じることができました。演奏している人がキラキラして見えて、コロコロ変わる音色からどんな気分なのかかわかり、自分たちもこんな演奏をしたいと思いました。(あつぷる・10代)/演奏が始まるや、名匠ミンコフスキさんと都響の奏でるファンタジーの世界に引き込まれていきました。聴き慣れている名曲以外にも素敵な曲が多いですね。例えば第1幕最後の「雪片のワルツ」でも少年合唱の透明でクールな歌声には涙が出るほど感動しました。涼しげな夢の世界をありがとうございました。(夢見る高齢者・60代)/真夏のミューザに雪は降るのか?みごとに降りましたねえ チャイコフスキーの世界をたっぷり楽しみました。(ののち・50代)/



NEXT!
サマーミュージック
次回のチケット情報

日本フィルハーモニー交響楽団
8/9(木) 19:00開演(15:00開場)



指揮/藤岡幸夫



ピアノ/反田恭平

音の風景～北欧・ロシア巡り～
ミューザ川崎シンフォニーホール

- ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第5番
(日本初演/ヴァレンベルク編)
- シベリウス：交響曲第1番

【公開リハーサル】15:30～最長17:30

完売御礼!

*当日券の販売はありません

…入場無料…

写真家・堀田正雄展
まなざしの音楽への

Rattle/Jansons/
Harnoncourt/
Luisi/ 秋山和慶/
Holliday/etc.

8/12(日)まで開催中
11時～19時 [無料入場券]
ミューザ4F
企画展示室

【公演 Review】

堂々たる響きを引き出し、 曲そのものの魅力を光らせる

【8/4(土)東京交響楽団@しんゆり】

出張サマーミュージック@しんゆりの第2日が、変わらぬ猛暑の新百合ヶ丘・昭和音楽大学テアトロ・ジリオ・ショウワで開催された。小林美恵がヴァイオリン協奏曲の名曲を弾くのが、ここ数年の恒例。今年はシベリウス。バックは大友直人指揮、川崎市のフランチャイズ・オーケストラ、東京交響楽団が務めた。

協奏曲の出だし、弱奏でたどどしく弾き出されたヴァイオリンソロにちょっと驚く。この協奏曲、

ヴァイオリンコンクールの本選で弾かれることが大変多い。技巧を輝かせ大音量でパワフルに弾く若い子の演奏に、すっかり慣れていた自分に気づく。小林のヴァイオリンはまるで“瀕死の白鳥”だった。北欧の凍てつく海の上、ただ一羽、声を嗄らして空を舞う。小林の紡ぎ出す哀しい情念の調べは、彼女にしか弾けない独自の解釈で、聴衆をうならせた。

かたや大友はオーケストラを壮大に鳴らし、そのコントラストがソロを一段と引き立てた。彼はいま

日本で一番の正当派指揮者だと思ふ。まったく奇をてらぬ指揮ぶりは、1曲目の「フィンランディア」、後半のブラームスの交響曲第2番でも、東京交響楽団から堂々たる響きを引き出し、曲そのものの魅力を光らせた。

(原口啓太・音楽ジャーナリスト)



藤本文昭



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!

Enjoy Kawasaki



夏祭りと言ったら? お好み焼き?!

夏と言ったら? フェスタ! ですが、夏祭りと言えど? お好み焼き?! という独断と偏見で、今回はパートナーショップに何店かある鉄板焼きのお店の中から「こてがえし」に行ってきました。

「海鮮焼き(お好み焼き)」と、「まるごと博多明太子もんじゃ」を注文。お願いすれば店員さんに焼いてもらえるそうですが、今回はお店の作り方をしながら自分で挑戦。

お好み焼きはふくらとした焼き上がりに完成。もんじゃ焼きの方は、明太子のほど良い辛さとモチのとろ

みが加わり、味も食感もいい感じに作れました。優待券の提示で、飲食代10%offとお得です。

ただし……とっても美味しいですが、鉄板物は衣服にニオイが付きやすいため公演後に行くことをオススメします! (経営管理課 いよ)

こてがえし (お好み焼・鉄板焼)

▶リスト P.19 掲載

▶アトレ川崎 8F

▶パートナーショップ特典

飲食代10%オフ

ミュージック公式インスタもフォローしてね!

Instagram
ミュージック川崎シンフォニーホール

渡辺功の休日

(東京交響楽団 / 首席チューバ奏者)



渡辺功 休みはあまり無いのですが、時間を見つけては亀の水を替えています。亀の名前は「たわし」。水を替える時には「たわし」の甲羅も束子で磨いてあげます。「たわし」は気持ちが良いのか、その表情からは読み取れませんが、きっと嬉しがってると信じて可愛いがってます。 #東響 #渡辺功 #チューバ #亀 #ミュージック公式インスタ連動中 #サマーミュージック



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

◎年会費3,000円

・チケット割引

・先行予約

など、お得な6つの特典あり!

詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント! DM 同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter : @summer_muza



Facebook : @kawasaki.sym.hall



Instagram : @muzakawasaki

(アルバイト 糸&竹&オ)

あります。貼る替えは屋外で行うので、風が強い日はもちろん、夏は暑さもこたえます。ポスターはJR川崎駅からミュージックへ向かうデッキ以外にも目立つ場所に貼ってあるので、ぜひ注目してください。 (アルバイト 糸&竹&オ)

外からミュージックに一步入れば、涼しく快適なホールで美しい音楽が奏でられています。さて、私たちミュージックのアルバイトの仕事のひとつにポスターの貼り替えがあります。みなさんが何気なく目に入っているポスターですが、実は自分たちで印刷から貼り替えまで行っているんです! 大きいものだとB0サイズ(約1m x 1.5m)もあり、近くで見ると迫力があります。

昨日の感動をお届けします!!
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza
スタツフ日誌
皆さん、厳しい暑さが続いています。さすがに暑さがお過ごしでしょうか。私はこの暑さを乗り切るために、よく担々麺を食べています。(お気に入りにはラゾーナのフードコートにあります笑) 今年は稀に見る早めの梅雨明けで、7月から夏本番。サマーミュージックも熱く盛り上がりつつあります!